

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 3月 30日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2793200045		
法人名	社会福祉法人 笑壺の会		
事業所名	グループホームごはん家族八雲西町		
サービス種類	地域密着型認知症対応型生活介護事業所、介護予防地域密着型認知症対応型生活介護事業所		
所在地	守口市八雲西町二丁目12番13号		
自己評価作成日	平成 22年 3月 1日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を利用する場合	http://gohankazoku.com
② 情報提供票を利用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	〒546-0035 大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 3月 25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

毎日散歩に出掛け、社会とのつながりを大切にまた利用者の気分転換を図れるように努めている。また日々穏やかに笑って暮らせるようケアに取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームはバスが通行する道路から少し入った静かな住宅街にあり、旧住宅をグループホームとして改築しているが、住宅の各種設備はすべて最新のものです。利用者は6名で、昼間は共用室で職員と一緒に楽しむのに適した利用者数です。
 管理者兼ケアマネジャーは運営者の夫人で、ご夫婦が協力し、気配りと楽しい生活を送って頂けるように運営されている。
 職員は3年以上の介護経験者7名が中心となり、別に看護師が1人、職員として勤務しているので、利用者も、ご家族も安心し、安定した生活を続けている。
 又、ホームの周辺は散策できる歩道が多く、利用者は天気さえ良ければ、僅かな時間でも利用して散歩を楽しんでいる

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日々穏やかに笑って暮らせるようにと、独自の理念をつくりあげている	職員会議を開催して、指導、情報交換、研修等を行っている	予め、日時を定め、定期的な開催に努めて欲しい
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	毎日散歩に出掛けたり、近所の牛乳パック回収、スーパー、美容院を利用して日常的に交流している	周辺部は車道と区別された歩道が数多くあり、散策と近隣の方々との間で、ご挨拶を交換している	
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日常的に地域の方と触れ合う機会を作り、認知症の人の理解を地域の人々に向けて活かしている	/	/
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催している。主治医との連携や家族様とのやり取りを報告して、意見をいただき、サービス向上に活かしている	地域包括支援センターの職員や、地域の役員さんも参加して頂いて、定期的開催し、情報交換と話し合いがあり、介護改善に活かしている	
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を利用して、地域包括支援センターと協力関係を築くように取り組んでいる。市役所担当者とは交流が少なく、これから検討していく	運営者が市役所の所轄部署との交流を担当し、情報交流を図っている	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	具体的な行為を正しく理解までは、全てとは言えないも、日常的に身体拘束をしないケアの話は行っており、玄関も施錠していない。職員との研修を検討している	管理者が、研修会に出席した報告を兼ねて職員に説明している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者、スタッフ間でストレス等話して、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	資料等はあるも学ぶ機会は持てていなく、活用できるよう支援できていない。職員研修を検討している		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約後にも、疑問点がないか尋ね、理解納得を得ている		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者に意見等を表せる機会は設けており、会議時には話し運営に反映させ、運営推進会議において表せる機会を設けている	季節の花見等、地域の行事参加を兼ねて、ご家族との交流を図っている。運営推進会議では、ご家族代表者にも出席して頂いている	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	職員からの意見や提案用ノートを作り、その都度また会議時には意見等を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、日頃から職員と一緒に介護に当たっていて、日常的に交流が出来る	職員の業務分担と、権限委譲を検討して欲しい
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	日常的にコミュニケーションを図り、向上心を持って働けるように努めている		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内では介護技術を実践しながら勉強する機会はあるも、外部の研修は出来ていないので検討する		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者との交流はあるも、勉強会等を行えていないので、今後の課題としたい</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○ 初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人に寄り添い、本人自身からよく聴く機会を作り、本人が安心を確保するための関係づくりに努めている</p>		
16		<p>○ 初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家族からよく聴く機会を作り、本人が安心を確保するための関係づくりに努めている</p>		
17		<p>○ 初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>しっかり傾聴し必要な支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
18		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の得意としている事を教えていただいたりする機会を取り入れたりして、関係を築いている</p>		
19		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>必要な時には、家族の支援をお願いし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族との外出を積極的に援助したり、また馴染みの人が来所された時には、間に入り関係が途切れないよう支援に努めている	管理者、職員は利用者の、馴染みの方の来訪を歓迎し、良い関係が続くよう配慮している	
21		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション、日常生活においても利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている		
22	9	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要な家族には、お手紙等で近況を伺ったりして関係を断ち切らない付き合いを大切にしている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23		○ 思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的に本人の意向を聞くようにしている。また連絡ノートにて職員は情報交流している	職員は日常的に利用者に寄り添い、話し合いを重ねて、希望や意向の把握に努めている。	
24		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴の聞き取りを行い、把握に努めている		
25		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている	総合的に把握するように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング	日常的に本人の希望を聞いたり、また家族に確認を行ったりして介護計画を作成している	職員は定期的にカンファレンスで、一人ひとりの状況把握を重ねながら、新計画の作成に活かしている	
		本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27		○ 個別の記録と実戦への反映	日々の様子を記入する事で情報を共有し介護計画の見直しに努めている		
		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人の状況に応じ、本人が一人で通院を行ったりして柔軟な支援をしている		
		本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○ 地域資源との協働	必要性に応じて、各機関との連携を深めている		
		一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	11	○ かかりつけ医の受診診断	往診の依頼をしたり、バス乗車までの援助をしたり、適切な医療を受けられるように支援している	利用者ごとに、主治医が異なっていて、夫々に応じた支援を行なっている	
		受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○ 介護職員との協働	介護職員、看護職員や提携医院の看護師と相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている		
		介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
32		<p>○ 入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	病院関係者との情報交換や相談に努めている			
33	12	<p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	今までもターミナルケアを行い、かかりつけ医の協力のもと支援に取り組んでいる	市役所のご指導もあり、ご家族と看取りの合意書を再確認している		
34		<p>○ 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変や事故発生時のマニュアルは作成しているも、全ての職員ができるとも言えず、内部研修を検討する			
35	13	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている</p>	自治会長、近隣の医院に日頃から声を掛け、協力を得られるよう働きかけている	最近の火災事故のこともあり、地元の方々と交流は、以前から配慮して来ている	職員同士でマニュアルに従って、避難訓練を年2回程度実施して欲しい	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている</p>	プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている	職員同士で、言葉掛けに注意し合っている		
37		<p>○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	日常的に思いや希望を伺ったりして働きかけている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38	15	○ 日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや、都合を優先せず対応しているも、利用者の希望に添えない事もある	少人数でもあり、職員として、利用者との話し合いが良く出来ている	
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している			
39		○ 身だしなみやおしゃれの支援	その人らしいおしゃれができるように支援している		
		その人らしい身だしなみや、おしゃれができるように支援している			
40	16	○ 食事を楽しむことのできる支援	利用者の力を活かしながら、手伝っていただいている	メニューは職員の回り持ちで作成され、利用者に喜ばれている。体重管理についても、メニューと食事量に配慮されている	
		食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
41		○ 栄養摂取や水分確保の支援	食事量、水分量等を記録し、利用者の状態や力、習慣に応じた支援を行っている。また体重管理を行っている		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○ 口腔内の清潔保持	歯ブラシに歯磨き粉を付けたり、入れ歯洗浄したり、口腔状態や力に応じた支援をしている		
		口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている			
43		○ 排泄の自立支援	個々に排泄パターンを探り、誘導時間を考えたりして、気持ちよく排泄できるように支援している		
		排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている			
44		○ 便秘の予防と対応	特に便秘気味の方には、水分摂取量に注意し、また身体を動かす働きかけに取り組んでいる		
		便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	スタッフ配置もあるため、曜日や時間帯は決まっているが、決められた時間の中でタイミング、湯船の中の時間は希望を聞きながら支援している	入浴時間の希望は特にはないが、入浴を皆さんが楽しめるように配慮している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	遅い入眠時間の方は、スタッフの横で手作業されたり、また添い寝したりして眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	理解しており、服薬の支援と症状の変化に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	男性同士で将棋をしていただいたり、また女性の方には編み物、洗濯たたみをされたりし、気晴らしの支援をしている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	受診のため、交通機関を利用し一人で外出したり、利用者個々の持っている力に合わせて、戸外に出られるよう支援している	天候が良ければ、戸外に出て、日光浴をしながら、散歩をするように努めている。	
50		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解し所持し使えるよう支援している人もあるが、ホームでの生活に支障をきたす方には所持してもらっていない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	電話をかけたりにして支援している		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	共用の空間には家庭的な照明を使い生活感を採り入れ、また時季の花を生けたりして季節感を取り入れている	共用の机の周辺は気楽な談話の場となり、少人数でもあるので、和やかな雰囲気となっている	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者同士で過ごせるように、ソファやダイニング席の配置を考え、思い思いに過ごせる居場所の工夫をしている		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	入居時には可能な限り、今まで使い慣れたタンスやベット等を持ち込んでいただき、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	夫々好みの家財等を持ち込んで過ごしている。特に、清掃は行き届いている	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ゴミ箱の位置を少し変えたり、鍵施錠の所に貼り紙したりして、出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	① ほぼ全ての利用者の
			② 利用者の2/3くらいの
			③ 利用者の1/3くらいの
			④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	① 毎日ある
			② 数日に1回程度ある
			③ たまにある
			④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている		① ほぼ全ての利用者が
		○	② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		① ほぼ全ての利用者が
		○	② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができています	○	① ほぼ全ての利用者と
			② 利用者の2/3くらいと
			③ 利用者の1/3くらいと
			④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		① ほぼ毎日のように
		○	② 数日に1回程度
			③ たまに
			④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	① 大いに増えている
			② 少しずつ増えている
			③ あまり増えていない
			④ 全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	① ほぼ全ての職員が
			② 職員の2/3くらいが
			③ 職員の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う		① ほぼ全ての家族が
		○	② 家族の2/3くらいが
			③ 家族の1/3くらいが
			④ ほとんどいない